

地域防災拠点の資機材の更新等について

1 令和2年度から更新した資機材（写真はイメージです）

資機材名	更新資機材	見直しの方向性
移動式炊飯器 	改良型移動式炊飯器 	<ul style="list-style-type: none"> 震災時のエネルギー供給の途絶に備え、中学校ではLPガスを使用したガスかまどを、小学校では灯油等を使用した移動式炊飯器を備蓄しています。中学校ではLPガスボンベの常備が完了したことから、小学校の拠点については、灯油等を使用する取扱いが容易でメンテナンスの負担の少ない、「改良型移動式炊飯器くまかない君」へ更新しました。
ガソリン式発電機 	ガス式発電機  新ガソリン式発電機 	<ul style="list-style-type: none"> ガソリン式発電機は、メンテナンスや取扱いが容易なガス式発電機に更新しました。残りのガソリン式発電機につきましても、メンテナンスや取扱いが容易な発電機に更新しました。 <p>ガソリン式：3台 ガス式：4台（小学校拠点5台くまかない君用）</p>
投光器 	全方位型LED投光器 	<ul style="list-style-type: none"> 投光器を、「救助現場」よりも「地域防災拠点内」で避難生活用として、使用しやすいものとしします。 より明るい全方位型のLED投光器に更新していきます。 <p>全方位型：5個</p>

【裏面あり】

2 燃料の更新について

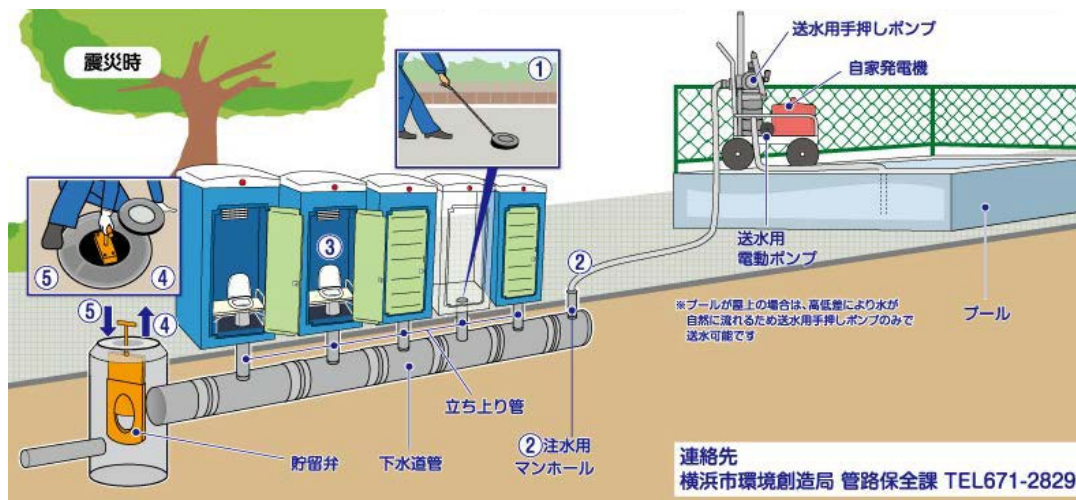
ガソリン缶（1L×9缶）、灯油缶（1L×9缶）ガスボンベ（ガス式発電機の配備台数×12本）を配備しています。ガソリン缶、灯油缶は毎年3缶、ガスボンベにつきましては、3年に1度1/3本ずつ更新しています。

※灯油缶はまかない君用のため小学校拠点のみ配備

※訓練用の燃料につきましては、区役所に相談いただければ準備いたします。

3 災害用ハマッコトイレの整備について

地震の影響で水洗トイレが使用できなくなった場合でも、使用後に直接下水道に流すことができ、衛生的に使用できる仮設トイレの整備を進めています。



・整備状況

令和5年2月現在、泉区では区内19校の拠点で整備が完了しています。全拠点への配備完了は令和5年度を目標としています。

【整備済みの拠点】

飯田北いちょう小、(旧) いちょう小、上飯田小、いずみ野中、和泉小、中和田小、伊勢山小、泉が丘中、下和泉小、中和田南小、緑園学園、新橋小、岡津小、西が岡小、領家中、東中田小、中田中、中田小、葛野小

【今後の整備予定】

いずみ野小学校、上飯田中学校、中和田中学校

4 更新後の資機材・災害用ハマッコトイレの取扱いについて

更新後の資機材・災害用ハマッコトイレの取扱いに関する研修については、新型コロナウイルス感染症の状況を伺いながら随時研修会等を計画・実施していく予定です。